

# いしのまき

## No. 88

### 市議会だより

令和8年2月19日発行



第4回定例会 .....	2
常任委員長報告 .....	4
25人が一般質問で市政を問う .....	6
行政視察レポート .....	18



リズムカルで華やかな演奏を披露した大野俊三さん(中央)と恋の炎サクソフーンカルテット&moreの皆さん



〔令和7年11月15日開催の議場コンサートの様子〕

※詳細は17ページをご覧ください。

# 令和7年 第4回定例会

12月2日から18日までの17日間の日程で開催し、市長提出議案89件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

提出された議案と審議結果



## 条例例 (原案可決)

- 石巻市文化芸術振興基金条例
- 石巻市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 石巻市桃生高須賀定住センター条例を廃止する条例
- 石巻市労働会館条例を廃止する条例
- 石巻市職員等の旅費に関する条例
- 石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 石巻市立高等学校の教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市建築基準等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

## 予算 (原案可決)

令和7年度

- 石巻市一般会計補正予算(第4号)
- 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 石巻市病院事業会計補正予算(第2号)
- 石巻市一般会計補正予算(第5号)
- 石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)

## その他 (原案可決)

- 第2次石巻市総合計画基本計画について  
指定管理者の指定について  
(石巻市総合体育館 他54件)



遠藤宏昭議長

- 宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 工事請負の契約締結について
- (仮称)桃生こども園建設工事
- (仮称)桃生こども園建設機械設備工事
- 工事請負契約の一部変更について
- (東中瀬橋橋梁下部工新設(その3)工事)
- (蛇田中学校校舎長寿命化改修その他工事)
- (蛇田中学校校舎長寿命化改修電気設備その他工事)
- (蛇田中学校校舎長寿命化改修機械設備その他工事)
- 訴えの提起について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の変更について



西條正昭副議長

## 第4回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します

### 可決した条例から

#### ◆石巻市文化芸術振興基金条例

本市の文化芸術の振興に資することを目的として市民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供等に活用する基金を創設するため、本条例を制定するもの。

#### ◆石巻市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の一部改正により、新たに市町村による認可事業として位置づけられた乳児等通園支援事業が来年度から実施されることに伴い、事業実施に当たり、国が定めた基準に基づき、設備および運営に関し必要な基準を定める必要があることから、本条例を制定するもの。

#### ◆石巻市職員等の旅費に関する条例

国家公務員等の旅費に関する法律の改正等により、本年4月から国家公務員等の旅費制度の見直しが行われたことを踏まえ、本市職員等の旅費制度についても、経済社会情勢の変化に対応するとともに、事務負担軽減を含めた適正・適切な事務執行を図るため、現行条例の全部を改正するもの。

主な内容については、宿泊に要する経費について、定額支給から上限付き実費支給に改めるなど、実費支給に重きを置いた旅費の種目および内容の見直しを行うとともに、交通費と宿泊費が一体となったパック旅行代に関する旅費種目として包括宿泊費を新設し、旅行代理店等への直接支払を可能とする規定のほか、市費の適正な支出を確保する観点から、旅費の返納に係る規定の新設など。

#### ◆石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の一部改正に伴う、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が本年9月に公布され、放課後児童健全育成事業の施設職員等による虐待の通報義務が創設されたほか、現行条例は、国の基準に準じて規定していることから、今回の内閣府令の改正を機に、国の規定を引用する条文に改めるため、現行条例の全部を改正するもの。

### 可決した補正予算から

令和7年度石巻市一般会計補正予算（第4号）は、利用者の増加等に伴い不足が生じる各種扶助費のほか、がんばる石巻応援寄附金の目標額見直しに伴い必要となる返礼品等の経費や学校給食における食材料の物価高騰対策に要する経費などを措置したもの。

令和7年度石巻市一般会計補正予算（第5号）は、人事院勧告に基づく職員給与の改定および職員の異動等に伴う人件費などの整理に要する所要額を措置したもの。

#### ◆総務費では

- ・ 公用車設置テレビのNHK受信料未払に伴う経費  
(43台分) 600万円
- ・ 施設設置テレビのNHK受信料未払に伴う経費  
(24台分) 245万円
- ・ がんばる石巻応援寄附金の目標額見直しに伴う返礼品等関係経費の増額 1億7,096万円

#### ◆民生費では

- ・ サービスの利用増加に伴う障害者自立支援に係る扶助費の増額 2億2,170万円
- ・ 他市町施設への入所児童の増加に伴う児童保育事業他市町村委託費の増額 4,500万円

- ・ サービスの利用増加に伴う障害児通所給付費の増額 1億2,398万円

#### ◆衛生費では

- ・ 不足が見込まれる予防接種費の増額 9,700万円

#### ◆農林水産業費では

- ・ 渇水・高温対策事業および土地改良区が管理する施設の改修に伴う本市負担 4,117万円
- ・ 部分林組合との部分林造成契約に基づき支払いを要する造林分収金 478万円

#### ◆教育費では

- ・ 学校給食における食材料の物価高騰対策に要する経費の増額 7,260万円

# 常任委員長報告

12月3日の本会議で、条例や補正予算などの議案が所管の常任委員会に付託され審査が行われました。審議の結果、全ての議案について可決すべきものと決し、12月18日の本会議で各常任委員長が報告しました。その要旨を紹介し

## 条例・補正予算等

### 総務企画委員会



山口 荘一郎 委員長



令和7年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

**Q** NHK受信料の未払いを確認した経緯について。

**A** 毎年10月頃にNHKからの調査書により台数を報告し支払

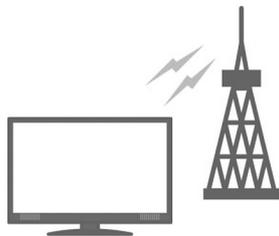
いを行っているが、全国的に受信料未払いの報道があり、改めて調査した結果、カーナビ等、受信機ごとに契約が必要である認識が不足していたことにより報告漏れが発生し、未払いとなっていた。

**Q** NHK受信料の過年度分の未払い年数について。

**A** 公用車のカーナビは初度登録から、テレビは備品台帳に記載した日から受信料の支払いが発生し、最長の未払い年数は約14年である。

**Q** NHK受信料の削減について。

**A** カーナビ等の必要性を確認し、できる限り取り外し、必要な台数の配置に努めていきたい。



**Q** 災害援護資金の貸付件数および残債権について。

**A** 本年9月末時点で貸付3064件のうち、償還免除を除き、償還済みが1621件、残債権が12

21件の約15億4千万円である。償還期間は13年であり、残債権のうち約1100件が滞納しており、生活状況等

を確認しながら分納等の対応を丁寧に行っている。

### 環境教育委員会



千葉 正幸 委員長



石巻市文化芸術振興基金条例

**Q** 市民からの寄付金と公益財団法人石巻市芸術文化振興財団の残余財産のそれぞれの金額について。

**A** 市民からの寄付金が1千万円、財団の残余財産は現状の見込みで現金が約5500万円、国債の評価額が約8200万円、約1億4千万円である。

**Q** 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

**A** 令和9年4月に北村小学校と広測小学校が統合するに当たり、相互の学校の児童の交流事業および北村小学校閉校後の跡地利用について。

**A** 交流事業は来年度計画している。地域や関係部局と連携し、総合的に今後の利活用の方法を検討していきたい。

令和7年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

**Q** 物価高騰の影響を受けている食材について。

**A** 米は昨年度と比較して1.7倍に価格上昇しており、パンの原料である小麦のほか、ニンジン、ジャガイモ、卵など全体的に上昇傾向にある。

**Q** 地産地消の観点から、学校給食に地元食材が反映されているかについて。

**A** 米飯については全て石巻産であり、野菜や大豆製品も地元食材を活用しており、令和6年度決算ベースで宮城県産が53.7%、そのうち石巻市産が22%である。

**Q** 年度初めの給食の契約方法について。

**A** 米については宮城県学校給食会を通じて購入しており、単価はみやぎ米飯学校給食支援方式の枠組みにより決められている。また、牛乳については県の農政部畜産課で取りまとめられている宮城県学校給食用牛乳供給事業の枠組みで契約し、野菜等はJAいしのまきや石巻学校給食青果物納入組合と契約している。



## 保健福祉委員会



鈴木良広 委員長

石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

**Q** 条例における虐待の通報基準の明確化について。

**A** 本条例は児童福祉法改正による国の基準に合わせたものであり、職員が虐待を発見した場合も通報義務として明確化され、さらに、通報によって解雇や降格等の不利益な扱いを受けないようにする点も明確化される。

石巻市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

**Q** 牡鹿病院の診療所化によって会計区分が変わるか。

**A** 市立病院の付属診療所という位置づけで、従前のとおり病院事業会計である。

**Q** 病床数が20床を下回り、名称が変わることで、業務体制が変わらないかについて。

**A** 医師の対応、看護師の人数および救急告示医療機関としての役割は変わらない。

令和7年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

**Q** 本市が他市町村の保育施設に委託している児童数および他市町村から受託している児童数について。

**A** 本年11月1日現在で委託している児童数が47名、受託している児童数は27名である。

児童手当の増額理由について。

**Q** 昨年10月の児童手当法改正で、第3子以降の算定対象年齢が18歳から22歳まで拡大されたことにより、多子加算の申請で、第2子が第3子に算定され、支給額が月額1万円から3万円となり、想定以上の申請があったため。

**Q** 予防接種の内容と予算増額の内訳について。

**A** 今年度から高齢者を対象に定期接種となった带状疱疹予防接種で4千万円程度、インフルエンザ予防接種等で5千万円程度である。



指定管理者の指定について(石巻市砂押老人憩の家)

**Q** 付近に位置する砂押会館との役割の統合に対する考えについて。

**A** 指定管理者から、会員数の減少により維持管理が大変であり、砂押老人憩の家の老朽化も進んでいる旨の話があったことから、今後、砂押会館に砂押老人憩の家の機能も含まれるよう進めていく。

## 産業建設委員会



星雅俊 委員長

石巻市桃生高須賀定住センター条例を廃止する条例

**Q** 桃生高須賀定住センター指定管理終了後の施設管理方針について。

**A** 来年4月以降は桃生総合支所地域振興課で草刈り等含めた施設管理を行っていく。  
**Q** 緊急避難場所としての取扱いについて。

**A** 今後の施設の在り方にもよるが、同センターの代替として、高須賀地区内にある2つの集会施設で充足できると考えられるため、今後は関係部署との協議と合わせ、地域住民への周知を図っていききたい。

令和7年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

**Q** 高齢者等肉用牛導入貸付事業基金残高および貸付件数について。

**A** 基金残高は約5370万円、貸付件数は14頭である。

**Q** 貸付事業における滞納状況と今後の対応について。

**A** 返済できていない滞納者は、河北地区で1頭分、河南地区で10頭分、北上地区で1頭分である。また、今後の対応については、現状を整理した上で、法的な手続きも含め、回収に取り組んでいく。

**Q** 公園施設整備工事の内容について。

**A** 点検により更新が必要と判定された2つの公園において更新工事を行うものであり、追波川河川運動公園の背肘つきベンチ20基およびバランススツップ7基、また、新境町公園のシーソー1基および2連ブランコ1基の更新工事を行うもの。



# 一般質問

議員25人が登壇

## 市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、25人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただし、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが、市当局の答弁に基づき記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

## 一般質問通告一覧(質問順)

①阿部 和芳 (日高見会) 1 市長の政治姿勢について	⑬千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 第2県都の思いについて 2 有害鳥獣対策について 3 公園などの遊具について 4 桃生の諸課題について
②勝又 和宣 (石巻あかつきの会) 1 鳥獣被害対策強化について 2 交通安全教育の現状と今後の方向性について	⑭都甲 マリ子 (日高見会) 1 行財政運営について 2 いしのまき復興マラソンについて 3 安心安全な学習環境の信頼回復について
③齋藤 澄子 (無会派) 1 子ども達を守る対策について 2 湊地区の諸課題について 3 女川原子力発電所2号機の「特定重大事故等対処施設」の設置期限延長について 4 航空自衛隊 松島基地からの航空機、騒音対策について	⑮櫻田 誠子 (公明会) 1 物価高対策について 2 子育て支援について 3 高齢者支援について
④星 雅俊 (日高見会) 1 社会的課題解決に期待される「ずっと住みたい地域づくり支援事業」について 2 低成長長期時代の地方自治体の行財政運営について	⑯原田 豊 (石巻あかつきの会) 1 鹿又地区の交通事故について 2 大規模災害時の避難生活について 3 本市および教育委員会の後援や共催についての取り扱いについて
⑤木村 美輝 (石巻あかつきの会) 1 東北電力との信頼関係について 2 子育て支援について 3 公園の整備事業について 4 陸上競技場の計画と進捗状況について	⑰高橋 憲悦 (石巻市民クラブ) 1 少子化・高齢化社会、人口減少に即応した事務事業の選択と集中が不可欠。市民ニーズの高い新図書館の早期建設、猛暑対策として親水公園の建設について
⑥我妻 久美子 (石巻颯の会) 1 多子世帯の保育料の軽減について 2 小学校の「遊び場」としての校庭開放について 3 通学路の安全確保策について	⑱渡辺 拓朗 (公明会) 1 蛇田西部地区の雨水排水について 2 持続可能性を高める行財政改革について
⑦丹野 清 (ニュー石巻) 1 高齢化の課題について 2 渡波地区の津波避難対策について	⑲山口 荘一郎 (石巻颯の会) 1 障害福祉について 2 人口減少下での財政支出について
⑧早川 俊弘 (ニュー石巻) 1 大雨に伴う雨水対策について 2 市道管理対策について 3 熊対策について	⑳阿部 浩章 (ニュー石巻) 1 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進について
⑨阿部 正春 (無会派) 1 水産の街石巻について 2 石巻市水産物地方卸売市場について 3 石巻の沿岸養殖について 4 市の6次産業化について	㉑宇都宮 弘和 (石巻颯の会) 1 これからの財政の在り方について 2 教育の質の向上について 3 水産資源の有効活用について
⑩鈴木 良広 (公明会) 1 東日本大震災から15年目の課題について	㉒佐藤 雄一 (無会派) 1 HPVワクチンの危険性他、各種予防接種について 2 多文化共生、国際交流について 3 SDGsの取り組みについて 4 地方創生2.0について
⑪楯石 光弘 (日高見会) 1 本市の温暖化対策の実績と対策について 2 里山保全と森林環境税について 3 近年の気候変動と雨水排水対策について	㉓谷 祐輔 (石巻颯の会) 1 子どもの安全と学校への信頼回復の取組について 2 市民ニーズ把握の在り方と政策への反映について
⑫大森 秀一 (石巻市民クラブ) 1 消防組織について 2 桃生小・中学校一貫校計画の進捗状況について 3 芸術文化の振興について	㉔後藤 兼位 (石巻颯の会) 1 行財政運営について
	㉕阿部 久一 (ニュー石巻) 1 人口減少とまちづくりの方向性について 2 公共施設の維持管理について 3 財政収支見通しと予算編成の在り方について



阿部 和芳 議員

日高見会



**問** 主要地方道石巻鮎川線3期工区について、急勾配のカーブが続く難所をトンネルで解消し、原子力災害を含む有事の避難道や住民の生活道としての利便性を高めるとして延長2・7キロ。頓挫したままだが、これまでの対応と所見、今後の対応を伺う。

**答** 今後も地域の皆さまと一体となり、あらゆる機会を捉え、早期完成に向けて働きかけていく。

**問** 持続可能な行財政改革について、厳しさを増す財政状況を踏まえ、来年度の予算編成方針、一律10%削減など渡邊副市長から課長級職員を対象にした説明会で話した。市長の所見と対応について伺う。

**答** 令和8年度予算編成方針において、一般財源の前年度比10%削減の目標額を設定し、さらなる事業の厳選を行い、財政調整基金繰入金金の抑制を図ることとした。

**問** 人口減少対策には稼げる街という観点から、市内業者でできることは市内業者ということが大切だと思いが、所見を伺う。

**答** 地元企業への優先発注を基本とした入札を実施している。

**問** 財政をおびやかす大型事業（広域でのごみ処理施設や陸上競技場など）の建設の実行を判断する考え方や方針について、所見を伺う。

**答** 今後控える大型事業を見据えつつ、実行すべき事業について責任を持って判断する。

**問** いしのまき観光大使の任命と活用における、市長の判断について、通販やYouTubeなど発信力のある方々を採用することが大事。



勝又 和宣 議員

石巻あかつきの会



**鳥獣被害対策強化について**

**問** 銃弾やわなの資材費は、物価高騰の影響を大きく受けている。国への要望も見据え捕獲単価見直しが必要だが、考えを伺う。

**答** 物価の変動を考慮して検討し、主な財源となる国庫補助金の引き上げも要望していく。

**問** 鳥獣は県境や市町村の境界を理解しておらず、本市単独での対応には限界がある。2市1町での広域連携体制の必要性について見解を伺う。

**答** 広域的な取り組みが有効であることから、常に情報共有を図りながら、連携して鳥獣被害対策を実施していく。

**交通安全教育の現状と今後の課題について**

**問** 学校ごとの交通安全教育に差があるとの声がある。指導レベルの均一化に向けて、どのように支援し体制整備を進めていくのか伺う。

**答** 各学校が一定の成果を保つためにも、交通安全教育の重要性を改めて周知するほか、地域の事情に応じた交通安全教育に関する指導の徹底が行われるよう取り組む。

**問** 交通公園は、実践的な交通安全教育の場として高く評価されている。子どもや高齢者の事故防止、地域の交通安全意識向上、防災面での活用など多面的な効果への見解を伺う。

**答** 交通安全教育において、交通公園は気軽かつ実践的に学べる体験型施設として大変有効かと思うが、財源などが課題である。活用できる財源を調査・研究するとともに、地域間による公園施設格差が生じないよう総合的に考えていく。



齋藤 澄子 議員

無会派



**子ども達を守る対策について**

**問** クマの目撃情報が寄せられているが、子どもたちを守る対策は。

**答** 県から熊鈴が配布された。校外活動等で活用するよう各学校のクラスに配布することとしている。

**問** 湊こども園では、園庭のフェンスより園外の高台の方が高く、高台からフェンスを越え、動物等が侵入する恐れがある。フェンスを高くすべき。

**答** 改修工事等を実施する場合、大規模工事となることからどのような対策が可能か研究する。

**湊地区の諸課題について**

**問** 大雨時にまた同じ場所が冠水や土砂が流れ込み、依然として被害が変わらない。今後の対策は。

**答** 冠水等箇所の巡視を強化、排水を阻害する土砂等の除去を行い、被害軽減に努める。

**問** 雨水が山から流れ、吉野町二、三丁目、御所入一帯が冠水した。排水強化を求める。

**答** 落ち葉、土砂等の堆積物が一気に流れ込み、スクリーン部がふさがれて流水を飲み込めず、冠水の原因になったため、スクリーン部の改良など対策強化を図る。

**航空自衛隊松島基地からの航空機騒音対策について**

**問** F35戦闘機などが飛行しているため、以前より騒音被害を受けている。国に対し交付金の増額、住宅防音工事エリア拡大を要望すべき。

**答** 特定防衛施設周辺整備調整交付金が令和6年度は6666万7千円交付された。今後も住宅防音事業補助対象区域の拡大、交付金の予算増額を要望していく。



星 雅俊 議員

日高見会



終活事業

高齢者の終活事業等は、見守り、施設入所、墓じまい等課題がある。民間を含めた協働体制が必要ではないか。また、「終活事業」の相談窓口の一本化や行政手続きの簡素化が必要ではないか。

終活事業は、支援体制を研究する。相談窓口の一本化や行政手続きの簡素化は、市DX事業計画で検討する。

陸上競技場

令和5年度基本計画の業者選定は、前回の入札方式から公募型プロポーザルに変え、入札時は、13社の応募から2社に激減した。令和7年度PFI可能性調査は、1社が参加。競争性を高める工夫が必要ではないか。また、今後の進め方は、延期か一旦中止か何う。

入札が全ていい訳ではない。業務経験、実績等の要件で応募がある。進め方は、中長期的な財政見通しに配慮し、事業等が固まった段階で示し進める。

補助金等の適正支出

今年度、おおむね市100%負担金で運営する実行委員会形式の団体数と主な名前を伺う。

3団体であり、①いしのまきの未来を担う成人のお祝い実行委員会、②石巻くじら振興協議会、③いしのまきスポーツコミッション。

3団体は、設立に行政が関与し、市民の自主性、自立性が弱い。クジラ肉料理の無償提供や観光大使等に川開き祭りの法被を作成した支出がある。実行委員会を隠れみおとするような行政執行は、市民の誤解を受ける。再整理すべきではないか。

交付基準を明確にし、補助金等の適正化に取り組む。



木村 美輝 議員

石巻あかつきの会



子育て支援について

他の自治体とは違う制度や補助金はあるのか何う。

親子関係形成支援事業を先駆けて実施。多くの自治体では第3子の子のみの小学校入学祝金を第2子に拡充している。

相談件数を伺う。また、どのような相談が多いのか何う。

相談件数は4035件、子どもの発達に関すること、母乳や離乳食の相談が多い。家庭の問題など、親自身に関する相談も増えている。

児童手当の受け取りを子ども名義に変更することができないか何う。

現行制度上は認められていない。受取口座の変更も任意で選択できない制度である。

公園の整備事業について

離半島部に公園や遊具が少ないと思うが、現状を伺う。

市街地の公園に比べ、遊具は少ないと認識している。新たな遊具の整備は困難と聞いているが、理由を伺う。

公園の遊具設置に係る助成金はあるが、全国的に活用希望が多く、採択は非常に厳しい。

陸上競技場の計画と進捗状況について

調査、計画の金額を伺う。

業務委託料の合計は、9039万4700円である。本市の陸上競技人口を伺う。

野球・サッカー・剣道に次ぐ規模であり、スポ少、中体連、高体連を含め627人である。

建設費が約45億円、維持管理費が年間約5千万円との説明もあり、物価高騰で増額する可能性があるが、見解を伺う。

資材価格や人件費の高騰、働き方改革などにより、増額となる可能性がある。



我妻久美子 議員

はやて 石巻颯の会



本市の「幼児教育・保育の無償化」では、国の基準にのっとり、多子世帯で1人目が小学生になると「1人目」としてカウントされなくなる。例えば5歳、1歳のお子さんがいるご家庭の場合、1歳児の翌年の保育料が2倍になる。年齢・人数問わず無償化、第2子以降は無償化にするなど検討すべきと考える。子育て支援だけではなく、若い納税者世帯の移住定住政策の側面からも有効と考えるがいかがか。

確かに結婚新生活支援事業など若年層向けの移住定住政策の成果は出ている。保育料無償化に向けて国への要望も行いながら、本市として切れ目のない支援のどこに力を入れて若い世代の定住を促進していくのかも含め、財源の問題も考えながら検討する。

「公園」を要望する声が上がりに続けている。学校の校庭の活用をしながら、さらに、地域と学校を結び1つの手法として、学校の校庭を「公園のように」とまではないかと思うが、放課後に解放することで肥満予防、外遊びとしての場所の確保ができると考えるがいかがか。

放課後の校庭開放についても、学校間で活用状況や肥満解消および体力向上につながるような特徴的な取り組みを共有していきたいと考えている。

県道191号鹿又広瀬線の安全確保策および通学路安全点検、ヘルメット着用の徹底、反射板の活用について伺う。

安全確保策については、横断歩道の設置などに代表される対応を関係機関へ働きかけている。反射板の活用は大変に有用であることから、活用促進を図っていく。



丹野 清員  
議員

ニュー石巻

YouTube



高齢化の課題について

問 「認知症対策」、「施設の介護士の充足度」について伺う。

答 本市の認知症施策推進計画は、令和8年度中に策定予定の石巻市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画と一体的に策定したいと考えており、計画立案においても本市の認知症当事者やその御家族の声を伺い、認知症の方等の参画と対話のもと、取り組んでいきたい。安定した医療や介護サービスを提供するためには、人材の確保・定着が極めて重要であることから、介護報酬単価の一層の引き上げ、処遇改善の推進等の財政支援などについて、国および関係機関に対し、引き続き働きかけていく。

渡波地区の津波避難対策について

問 渡波稲井線と通称取揚坂への渋滞対策用立て看板、横断幕の設置について伺う。

答 渡波稲井線や通称取揚坂などの渋滞対策については、避難行動要支援者等、やむを得ず車避難せざるを得ない方々の避難を可能とするよう、原則徒歩避難の周知徹底に努めるほか、地域の皆さまと共に看板や横断幕の設置などについて話し合いを重ねていく必要がある。

問 地区防災計画について伺う。

答 地区防災計画は、行政の押し付けの計画とならないよう、今後についても、住民に委ねるだけでなく、市は防災に関するさまざまな情報提供や指導・助言を行うなど、地域の実情に応じた実効性のある地区防災計画の策定となるよう積極的に支援していきたい。



早川 俊弘  
議員

ニュー石巻

YouTube



大雨に伴う雨水対策について

問 令和5年の中里地区における冠水原因の調査結果と対応状況は。

答 記録的な降水量と地形的な低さから、周辺の雨水が道路側溝に集中し、一時的に排水機能が低下したと考察している。

冠水被害の軽減を図るため、令和6年度より、道路側溝の改良工事と雨水管渠の整備を進めており、側溝改良は令和9年度、雨水管渠整備は令和8年度を完了予定としている。

問 新成二丁目南側の渡波排水路の管理方針は。

答 効果的な管理方法を検討し、他の排水路と同様に除草等を行い、適切な維持管理に努める。

問 渡波・黄金浜地区の二ツ堀下水路の整備方針は。

答 ボックスカルバート化などの整備は、雨水幹線の整備計画に基づき、進める方向で検討する。

市道管理対策について

問 市道伊原津一・渡波町一丁目線の管理状況、破損箇所への対応は。

答 定期巡視などで路面を確認し、損傷箇所は必要に応じて補修する。破損箇所については、適切な補修を進める。

熊対策について

問 熊の出没に対してどのような対策を行っているか。

答 目撃通報があった際は、ホームページ・LINEでの情報発信、警察・市職員の巡回、防犯カメラ映像の確認などで情報収集を行う。全市立学校・園へ迅速に情報を共有し、保護者へメール配信や、下校時の引き渡しなど、児童・生徒の安全確保にも取り組む。猟友会と連携し、箱わなの設置も実施する。



阿部 正春  
議員

無党派

YouTube



水産の街石巻について

問 県内外から石巻に来て駅を降りたとき、水産の街石巻を感じとれるか伺う。

答 石巻に来た方に魚の街だと感じられる魅せ方は、水産の街石巻のアピールに大変有効と考える。水産都市の雰囲気や伝わるような駅や中心市街地に設置しているデジタルサイネージを活用し、観光で訪れた人が、水産の街石巻の魅力を感じられるように研究していく。

問 市民の皆さん、飲食店、老舗料理店など石巻の魚を求めることが困難になっている。市場の背後地に市民向けの市場が必要と思うが見解を伺う。

答 魚市場周辺に市民向け市場があれば観光面でも魅力的だが、まずは事業を行うブレイヤーの確保が重要であるため、関連業界の方々と意見交換をさせていただきたい。

石巻市水産物地方卸売市場について

問 建物の長さ875メートルの長さで世界一、ギネス世界記録に認定されているが、市場を訪れる観光客の動向を伺う。

答 当該施設は、本市の水産、漁港の象徴としてPR効果が高く、観光振興の面からも重要な役割を担っている。見学ホールを常時開放しており、団体視察、家族連れの皆さんに荷さばき状況など見学をいただいている。

石巻の沿岸養殖について

問 かつぱを履いた若い漁師が同じ目的を持ったパートナーとして、常に役所に足を運べる環境づくりが必要ではないか。

答 青年漁業者の皆さまと連携、意見交換の場を充実させることは課題解決につながる。意見を届けやすい環境づくりに努めていく。



鈴木 良広 議員

公明会



東日本大震災から15年目の課題について

復興事業の維持管理と財政運営について

問 令和8年度の予算要求に当たり一律10%削減として  
いるが、市民サービスが行き届かなくなることや、本  
来進めるべき事業が進まなくなるのでは。

答 一律10%削減は、人口減少が続く中で歳入環境の変  
化に応じ、歳出予算を見直すためのものであり、事務  
事業等の行政改革を進めながら、市民サービスを継続  
していくためと考えている。

これからの避難所の在り方について

問 避難所の改善が進んでいると思うが、運営マニユア  
ルの浸透や自治会の担い手不足など課題もある。運営  
体制の課題をどう認識し、何を優先事項として捉えて  
いるのか伺う。

答 避難者を中心とした自主的な避難所運営のほか、避  
難生活の質の向上について課題と認識している。優先  
事項については、開設の初期段階から地域住民が運営  
に参画する仕組みづくりや避難所運営マニユアルの充  
実が必要と考えている。

事前防災の取り組みについて

問 防災DXの活用について、進めていることや検討し  
ていることはあるのか伺う。

答 防災センターにおいて災害状況や気象情報、河川氾  
濫情報などを一元管理するオペレーションシステムの  
導入や、災害情報では災害メールサービスのほか、X  
やフェイスブックを活用し、情報発信をしている。ま  
た、防災行政無線の放送内容を音声やテキストで配信  
するアプリの導入も検討している。



楯石 光弘 議員

日高見会



本市の温暖化対策の実績と対策について

問 「日に日に世界が悪くなる。気のせいかな、そうじゃ  
ない。そんなじゃダメだと焦ったり」朝ドラ曲の一節。  
本市全体の二酸化炭素排出量の実績と傾向を伺う。

答 110万9千トンで目標量を上回る。市民、事業者  
が運搬や自家用車依存の割合が特に高い。低炭素社会  
から脱炭素社会へ、さらなる努力が必要。

問 本市の農業部門での温暖化対策を伺う。

答 酸欠によるメタンや窒素肥料による一酸化二窒素が  
主な原因。有機農業などの環境保全型農業を支援する  
ことで削減に貢献。

問 世界の土壌の炭素量を毎年0.4%増やせれ  
ば二酸化炭素を実質ゼロにできるとする国際的取り組  
み運動あり。かなん有機センター稼働ストップの原因を  
伺う。

答 攪拌機の歯車が経年劣化で破損したため。

里山保全と森林環境税について

問 里山の価値と環境税の実績を伺う。

答 多種多様な生物の生態系の維持や、水源のかん養な  
ど多くの役割を担う大切な財産。1人年額千円納税し、  
森林施業履歴調査や森林の整備資金として譲与されて  
いる。

問 和刈山林道が長年通行止めになっている理由を伺う。

答 使用目的が林業施業のため、除草などの維持管理を  
行う。

近年の気候変動と雨水排水対策について

問 内陸部の黒沢地区から十一号排水までの現状と対策  
を伺う。

答 一部の区間に土砂が堆積し、カヤやハスなどが繁茂  
している。市と改良区で協議を行い、計画的なしゅん  
せつ等が進められるよう努める。



大森 秀一 議員

石巻市民クラブ



消防組織について

問 団員の確保の現状と課題について伺う。

答 令和7年当初1326名で条例上規定する団員数は  
1851名であることから、充足率は71.6%になっ  
ている。課題については人口減、少子高齢化などに  
よる団員の成り手不足が挙げられる。

問 消防装備の配備の現状と課題について伺う。

答 各班にポンプ置き場を整備し、消防団活動に必要な  
資機材を配備している。計画的に消防装備を毎年度整  
備しているが、物品の特殊性から更新が追いついてい  
ないことが課題として挙げられる。

桃生小・中学校一貫校計画の進捗状況について

問 着工時期と規模について伺う。

答 一般的な整備スケジュールとして、基本構想策定後、  
基本計画に1年、基本設計に1年、詳細設計に1年、  
整備手法にもよるが工事に3年程度かかる。

今後、本市全体で児童生徒数が減少していく状況  
にあり、令和13年度には、桃生小学校が144名、桃  
生中学校が76名まで減少する見込みとなっている。

芸術文化の振興について

問 今後の芸術文化の推進策について伺う。

答 本年7月に策定した「第3次石巻市生涯学習推進計  
画」において、具体的な施策を位置付け、本市の文化  
芸術の振興に取り組んでいくこととしている。

問 第3回石巻第九と今後の取り組みについて伺う。

答 「第3回石巻第九」は、そのサブタイトル「進化の  
石巻第九」のとおり、これまで以上に大いに盛り上が  
り本市の交流人口の拡大に大きく寄与されたものと考  
えている。「第4回石巻第九」は、令和8年11月29日  
の開催が決まっており、歌う喜び、聴く喜びを共に感  
じ、音楽の力で全ての人々に勇気と希望を与えるため  
にも、引き続き継続開催に向けた支援に取り組んでい  
く。

一般質問

第二県都石巻市について



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



問 本市は政令指定都市仙台市に次ぐ宮城県第二の都市であるが、県民の生活文化が潤う宮城県の施設がない。本市は第二県都を広く発信し、人が集まる条件づくりを県政と並行して構築し、揺るぎない第二県都の地位を築くべきであるが、市長の目指す思いを伺う。

答 第二県都石巻市を外外に発信することは市民の誇りの醸成をはじめ、交流人口等の拡大や地域の活力向上となる大変重要な取り組みと認識している。引き続き将来への期待が一層高まるよう積極的な情報発信と施策展開に努め、第二県都の名にふさわしい存在感を築く。

有害鳥獣対策について

問 麻酔銃で捕獲したときのクマの処理を伺う。

答 放獣をしないで、原則、止め刺しとする。

問 巻き狩りは狩猟犬が追い出したシカを銃で狙い撃ちする。石巻地区と河北地区の銃による捕獲頭数の差は、石巻地区は生息密度が高いので追い出される頭数も多い。当然捕獲頭数も多い。見解は。

答 地区ごとの生息密度は把握していないので分かりかねる。

問 イノシシの銃捕獲がない実態。今後のイノシシ捕獲対策を伺う。

答 わなによる捕獲が有効で、わなの捕獲隊員増加の取り組みを行っている。

遊具のボランティア修理について

問 公園等207カ所に845基の遊具がある。遊具のボランティア修理を伺う。

答 安全確保に関する指針があり、ボランティア修理は難しい。

行財政運営について



都甲マリ子 議員

日高見会



問 来年度当初予算要求を10%削減する方針について、削減の難しい予算や市民サービスへの影響が懸念される。また、クリーンセンター建て替え負担金や陸上競技場建設などの大型公共事業費が勘案されていないが、将来的な財政との整合性をどのように考えているのか伺う。

答 本方針は持続可能な行財政運営を目的とし物件費や補助費等を中心に見直しを行い、扶助費などの義務的経費は対象外とする。大型事業については事業費の確定を急ぐとともに財源の確保に努め、事業実施について検討する。

いしのまぎ復興マラソンについて

問 市街地へのコース変更により開北・水押・中里地区では長時間の交通規制が住民生活に影響している。時間帯により通行可能な道路への誘導や緊急時の対応など、より丁寧な配慮が必要である。

答 案内チラシの内容や緊急時の対応について改めて検討し、地域の理解を得ながら開催していきたい。

安心安全な学習環境の信頼回復について

問 市内の小学校教諭が性犯罪の疑いで相次いで逮捕されたことを受け、再発防止と信頼回復が急務である。犯罪が起こりにくい学校体制の構築と、通報をためらわない組織風土の確立が必要だ。

答 各校の再発防止策を共有し実効性を高めるとともに、本市の教育行政全体の課題として捉え、今後の未然防止に取り組んでいく。

物価高対策について



櫻田 誠子 議員

公明会



問 各自自治体の実情に応じ生活者支援・事業者支援が求められている。みやぎポイント・水道料金減免等の実施について伺う。

答 みやぎポイントは普及率が低く、公平性の確保では課題がある。水道料金減免は東松島市との調整や企業団のシステム改修が必要だが、水道普及率は99・84%で公平性の観点から有効的な生活者支援と考える。LPGガス料金支援は県の支援内容を確認して検討する。全庁を挙げ早期支援につながるよう事業に着手する。

問 電子地域通貨普及について伺う。

答 ささまざまな課題があり慎重にすべきと考える。

子育て支援について

問 提案してきた5歳児健診。令和8年度から実施が示されたが、詳細について伺う。

答 心理士を配置し、社会性発達の評価や発達障害等のスクリーニングを行い、多職種が連携して相談体制を強化する。

問 放課後児童クラブの時間延長と土曜日開所について伺う。

答 子育ての観点から重要な視点。全体的な運営状況や課題整理を進め検討する。

高齢者支援について

問 介護用品支給券見直しについて

答 令和8年度から5千円券は2500円券2枚とし利便性を図る。対象品目は分かりやすくする。

問 令和5年度質問したが、高齢者緊急通報システムのその後について伺う。

答 令和8年度固定電話から携帯電話回線システムに変更の準備を進めている。

問 有償ボランティア「スケッター」について伺う。

答 地域住民の隙間時間を介護事業所のお手伝いにつながる有効な仕組みと認識。幅広い層の市民が参画できる仕組みを検討する。



原田 豊 議員

石巻あかつきの会



鹿又地区の交通事故について

問 鹿又地区自治会の要望活動をサポートしているが、横断歩道や街灯の設置、学校での安全運転指導、自動車速度抑止としてセンターラインへポールを設置要望も盛り込まれる予定。

市長！ご遺族からのメッセージも読ませてもらったが、地域からの要望が届いた際、市としてどのような熱意でこの安全対策に向き合うのか伺う。

答 安全性の確保をいかに整備していくかが最優先。安全対策の中で最大限やれることに取り組む。ご遺族の方の想いも無駄にしないように、そしてこのような事故を起こさないようにしていくことが私の責務だと感じている。

本市および教育委員会の後援や共催の取り扱

問 本市で共催および400万円の補助を出している石巻第九のチラシに関して、特別協賛企業の商品名を掲載することは営利活動に近いグレーなものと感じている。

民間で主催するイベントであれば問題ないと思うが、市との共催という形で商品を宣伝することは看過できない。このチラシの実態について把握をして指導などは行ったのか伺う。

答 石巻第九のチラシに特別協賛をされている事業者の広告について、チラシが作成された後に把握して指導等は行っていないが、今後取り扱いについて協議していく。

問 今後、決定通知書類等に注意点を記載するべき。来年も開催されるとのことだが、指導などについても説明できるようにしておくように。



高橋 憲 議員

石巻市民クラブ



少子化・高齢化社会、人口減に即応した事務事業の選択と集中が不可欠。市民ニーズの高い新図書館の早期建設、猛暑対策としての親水公園の建設について

・現在の人口 約13万人  
・35年後 約7万7千人 今の約半分  
ある調査機関の推計による

問 公共施設等管理計画の図書館の位置付けは。年間約13万2千人が利用の図書館。全市民が1年に1回足を運ぶ計算になる。多くの市民に愛され、利用されている図書館。築52年が経過、バリアフリー化、エレベーターの設置、「カフェ」など斬新な企画と効率的な建設、運営を本気で考える時期では。

答 部分的な改修を行い、令和13年以降に検討。

問 猛暑・酷暑に対応した親水公園について。噴水やシャワー、簡易的な滑り台など、親子連れが気軽に水遊びのできる施設。ロッカールームなどはレンタルプレハブにするなど、最低限の建設費用は。

答 約6千万円と試算する。また、のぞみ野地区にある「せせらぎの小径」、追波川河川運動公園親水施設、中瀬公園「かわまち交流広場噴水施設」があり、新たな親水公園の建設は、予定はしていない。

問 事務事業の選択と集中について今後の取り組みは。

答 課題を体系的に分けて、解決すべきポイントを明確にする処方を用いて、市民ニーズを的確に把握し、期待に応える政策立案につなげる。行政運営の透明性と説明責任を高める。



渡辺 拓朗 議員

公明会



蛇田西部地区の雨水排水について

問 蛇田西部地区は周辺の水田貯水機能が低下し、冠水する箇所が増えている。今後の計画を伺う。

答 雨水計画区域に入っているものの早期の計画着手は難しい状況にあり、まずは下水路の適切な管理に努める。

問 幹線の計画だけでも進めるべきではないか伺う。

答 優先度の高い地区が複数存在し、当該地区の計画着手までには長い期間を来す状況にある。

持続可能性を高める行財政改革について

問 20年後の財政規模に対する適正な公共施設管理費に導くための具体的な目標が見えないが、どのように考えているのか。

答 現状の課題になっている公共施設等総合管理計画の実行性を高めることが重要と認識している。各種個別施設計画に具体的な個別目標を定めるなど、本計画との連動性を強化する。

問 行財政改革の原動力は全職員の意識改革が最重要である。どのように取り組んでいるのか。

答 できない理由を探すのではなく、どうすればいいのか考える姿勢を醸成するため、各種研修や職員提案制度を通して意識の高揚を図る。

問 公共施設の統廃合には公共交通の充実が欠かせない。公共施設等総合管理計画と総合交通計画をリンクさせるべき。

答 公共施設等総合管理計画についての記載はないが、地区住民の移動の変化ニーズに応じて路線の再編成や見直し、デマンド型交通の導入を実施する。



山口 荘一郎  
議員

はやて  
石巻風の会



人口減少下での財政運営について

**問** 住宅への太陽光導入コストは震災当時から下がり、公的資金で初期投資を軽減する必要性は薄くなった。新築住宅への設置補助は廃止してもよいのでは。

**答** 補助金制度の見直しは必要だが、当面は補助金を継続していく。

**問** 生活排水処理基本構想の見直しで新たに下水道計画区域外となる地区では、見直し案開示から1年間は浄化槽設置補助金の対象外であり、新築熱にブレーキがかかる。空白期間は単費で補助すべき。

**答** 単費での補助金交付も含めて検討を進めている。

**問** 学校体育館への空調設置について、国は令和17年度の設置率95%を目指している。概算コストを明らかにし、実施有無を含めて早期に判断すべき。

**答** 最も効率的な整備手法を検討する必要がある、断熱性能の確保なども課題となる。ほかの導入事例を参考に検討を進めていく。

**問** 石巻市合併後、婚姻数は4割程度まで減少した。国立社会保障・人口問題研究所の最新の全国調査では、交際相手と知り合ったきっかけは「学校で」が3割程度。今の20代はコロナ禍により、青春とともに貴重な運命のひととの出会いまで失っており、同級生との再会の機会、同級会への補助金制度を創設してはどうか。

**答** 統計でかなりの割合を「学校で」が占めていることを認識した上で、同級会補助金を試行できるかどうかも含めて検討したい。



阿部 浩章  
議員

ニュー石巻



持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進について

**問** 小中学校の給食残食量約15万キログラムは、令和6年度決算で約460万円をかけ、専門業者に委託し、焼却処分しているとのことであるが、校内に大型生ごみ処理機を設置し、生徒が当番を決め、残食を処理し、そのたい肥で野菜等を栽培すれば、体感として環境教育を培うと思うが、教育長の所見を伺う。

**答** ご指摘の通り、児童生徒自らが残食をたい肥化することは、環境教育として有効な取り組みの一つであり、先行事例を参考に、各学校の現状を踏まえ、取り組みを今後研究していきたい。

**問** ごみ問題は、資源の視点から考えると、地場産業にとってビジネスチャンスであり、スラグや生ごみ等を産学官連携の中で、仕組みづくりを検討する必要があると思うが、産業部長の所見を伺う。

**答** 再利用の仕組みづくり等は、費用対効果を踏まえ産学官の意見を聞きながらやるべきと思う。

**問** ごみ集積ボックス等の補助金は、年1回の補助決定であるため、貞山町内会では設置費を町内会で賄い、衛生環境を改善した経緯がある。このため、集積場の数に応じた補助条件の見直しを検討したいが、市長の所見を伺う。

**答** クリーンセンターの新設に当たり、今後、焼却量を少なくすることが課題である。その際、市民の理解・協力が必要であり、収集が不衛生であることは問題なため、ご提言を含め、今後前向きに対応していきたい。



宇都宮 弘和  
議員

はやて  
石巻風の会



これからの財政の在り方について

**問** 歳出削減と同時に歳入確保も必要である。そこで、歳入確保策について伺う。

**答** ふるさと納税、未利用市有財産の売却、各種基金の運用等に取り組み。

**問** デジタル住民票NFTの発行による財源確保、関係人口の増加について伺う。

**答** NFTの認知度が低いことから、広く知られたデジタルツールを利用した同様の事業展開も含め、活用可否について研究する。

教育の質の向上に向けて

**問** 授業での外部講師の活用実績と選定は。

**答** 総合的な学習の時間では365人、それ以外の教科では延べ1013人。学校運営協議会等での協議を経て、学校が選定する。

**問** 「外部講師人材バンク」を作り、学校間で情報共有し講師選定の一助としてはどうか。

**答** 実現の可能性や運用方法を研究する。

**問** 総合的な学習の時間には講師謝礼を公費で計上している。「武道」のような専門性のある科目にも講師謝礼を設けてはどうか。

**答** 必要性を吟味し、今後検討する。

水産資源の有効活用について

**問** 未利用・低利用魚利活用事業の成果と課題を伺う。

**答** 成果は、試食会や商品開発。課題は、調理加工、消費者理解の促進。

**問** 水産総合振興センターの駐車場を活用した朝市の開催は。

**答** 本施設の設定目的に合致するが、主催団体や事業者の確保が課題。

**問** 水産業の魅力の伸長と今後については。

**答** 水産業は地域経済を支える産業である。官民で連携し、実現可能な取り組みについて研究する。



佐藤 雄一 議員

無会派



**HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）の危険性ほか、各種予防接種について**

**問** HPVワクチンの接種状況について伺う。

**答** 今年度10月末現在、定期接種対象者は全体で4456人。そのうちキャッチアップ接種対象者は2136人。接種実人数は538人、接種率は約12%。

**問** 新型コロナウイルス、インフルエンザ、帯状ほう疹ワクチンの接種状況について伺う。

**答** 新型コロナウイルスは今年度10月から接種を開始し、10月末現在の接種者数は680人。インフルエンザワクチンは今年度10月から接種を開始し、10月末現在の接種者数は8752人。帯状ほう疹ワクチンの今年度4月1日現在の定期接種対象者は1万615人で、10月末現在までの接種者数は実人数で1753人、接種率は16%。

**問** HPVワクチンは10代女性が対象なのに、亡くなる方の8割は50歳以上のデータが出ている。子宮頸がんは若い人が亡くなるがなか。

**答** 日本では年間約1万1千人の方が子宮頸がん罹患し、約2900人の方が死亡していると報告されている。30代前半から年代が上がるにつれ多くなっている傾向がある。

**多文化共生、国際交流について**

**問** 外国人による土地取得の状況について伺う。

**答** 一定面積以上の権利取得者の国籍報告が義務化されて以降、外国籍の権利取得者からの届出はない。



谷 祐輔 議員

はやて 石巻颯の会



**子どもの安全は「管理」だけで守れるのか**

**問** 教職員の不祥事を受け、点検や巡視など管理体制の見直しは重要だが、人の目には限界がある。だからこそ、子ども自身が「おかしい」「違和感がある」と感じた今、この瞬間に声を出せる仕組みを整え、自ら身を守る力を育てるエンパワーメント教育が必要ではないか。

**答** 学校教育活動全体を通じた人権教育の中にしっかりと位置付け、各校に指示していく。

**市民ニーズ把握の在り方と政策への反映について**

**問** 市民ニーズ把握の現行手法は、声を上げられた市民の意見に偏りやすく、制度上「届きにくい声」が存在するという認識を共有できるか。

**答** 一定の地域課題や団体の目的達成のご意見が中心となってしまう場合は認識している。

**問** 届きにくかった市民の声についても、無視されるものではなく、政策判断の根拠の一部として制度的に拾い上げていく必要があるのではないか。

**答** 政策判断に当たり、市民の多様なご意見を広く丁寧に把握し、計画等に反映していくことは重要と認識している。

**問** そこで、大型事業や事業の優先順位を判断する場面では、行政だけで判断を背負わず、より多様な市民が参画できる意思形成の仕組みとして、無作為抽出による市民会議や全市民アンケートなど「オール市民」の理念を具体化する手法が必要ではないか。

**答** 特に大型事業については、その実施に向けたプロセスが極めて重要となるため、しっかりと検討していく。



後藤 兼位 議員

はやて 石巻颯の会



**学び・遊び・育つまちの実現に向け、図書館・児童館・公園・体育館など公共施設の再整備について**

**問** 新図書館の建設と機能強化をいかに進め、市民の学びと交流の拠点を形成するのか。

**答** 新図書館は令和13年以降に改築検討。多世代が集い交流できる利便性の高い施設を目指す。

**問** 子どもの室内遊び場の設置「雨の日も、寒い日も。子どもが安心して遊べる場所を作る」ことが必要では。

**答** 児童館や屋内遊戯施設の新設には財源等の課題があるが、子どもが安心して過ごせる屋内の居場所づくりについては必要性を認識している。

**問** 高齢者や障害のある方も安心して利用できる、公園のバリアフリー化をどのように進めるのか。

**答** 公園のバリアフリー化は、老朽トイレ更新と併せて、防災・安全交付金を活用しつつ遊具の安全性も考慮して順次進める。

**問** 快適な利用環境の確保と防災拠点としての機能向上のため、体育館の暖房設備整備を改善すべき。

**答** 支援協定事業者と連携し、災害時の避難所へ冷暖房器具類を迅速に設置して環境改善を図る。

**問** 青葉・蛇田地区では住居表示が複雑化し、郵便・宅配・救急対応に支障が生じる恐れがある。字界や地番を分かりやすい住所表示に。

**答** 青葉・蛇田地区の世帯増加に伴う利便性向上の必要性は認識している。

**問** 安心のまちへ向け施設整備と住居表示の改善を、行財政運営の中で積極的に推進することを期待する。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



人口減少とまちづくりの方向性について

問 持続可能なまちの再定義をどのように描いているか。

答 量より生活の質を重視し、教育・医療・住環境の充実、市民参加拡大を通じて持続可能なまちを再定義する。

問 二地域居住・関係人口の創出について伺う。

答 課題解決型ツアーを実施して成果を検証、令和8年度から居住者と空き家活用を段階的に増やす。

問 漁業担い手確保と住宅支援について伺う。

答 みなし特定公共賃貸住宅制度等を活用して相談可能であり、また、市営住宅は国の補助金で整備されているため自由活用はできないが、入居率が低い場合など条件を満たせば「目的外使用」が認められ、担い手住宅として活用できる可能性がある。

問 公共施設維持管理費について伺う。

答 令和7年度補正時点で100億円超。統廃合や譲渡で削減を検討する。

問 令和8年度予算編成方針について伺う。

答 今後3年間で収支不足約31億円を踏まえ、各部署に10%削減を通知。行財政改革推進プラン等に基づき緊急・有効性を判断し、財政健全化と市民サービス維持の両立を図る。

陳 情



- 国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情書  
(提出者) 社会の歪を鋭く追及 政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 加藤 克助
- 「外国人による日本の土地購入を規制する法律」の制定を求める意見書提出方陳情書  
(提出者) 一般社団法人 共存共栄クラブ 代表 伊藤 豪
- 「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出方陳情書  
(提出者) 一般社団法人 共存共栄クラブ 代表 伊藤 豪
- 石巻市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情書  
(提出者) 一般社団法人 共存共栄クラブ 代表 伊藤 豪
- 石巻市陸上競技場整備の更なる推進に関する要望  
(提出者) 特定非営利活動法人 石巻市スポーツ協会 会長 阿部 隆  
石巻市陸上競技協会 会長 菅原 耕司  
石巻地区陸上競技スポーツ少年団連絡協議会 会長 本木 忠一
- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情  
(提出者) 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章
- 令和8年度税制改正に関する提言について  
(提出者) 一般社団法人 宮城県法人会連合会 会長 菅原 裕典  
公益社団法人 石巻法人会 会長 尾形 和昭

※これらの陳情は、11月28日の議会運営委員会で審査し、全議員へ参考回付することで決定しました。

請願・陳情について



石巻市民をはじめ、広く人々が、市や国の行政について一定の措置をとるように、あるいはとらないよう希望を申し出るときは、市議会に対して請願・陳情を行うことができます。

請願を行うには議員の紹介が必要となりますが、陳情は議員の紹介は必要ありません。

請願は、その内容に応じて所管の常任委員会に付託して審査され、本会議の議決をもって採択・不採択を決定します。

陳情は、議会運営委員会で内容を協議し、委員会付託の有無など、その取り扱いが決定されます。

請願・陳情が採択されても、その実現に法的な義務はありませんが、市議会としては実現に向けて努力する責務があります。

なお、決定した結果は、速やかに請願者・陳情者にお知らせしており、採択された請願・陳情は、市当局に対し定期的に処理経過および結果の報告を求めています。

## 障害者週間啓発活動実行委員会と意見交換会

11月1日、石巻市ささえあいセンター3階ささえあいホールで議員と障害者週間啓発活動実行委員会が「障がい者の地域生活を考える」をテーマに意見交換会を実施しました。

意見交換会では本市における障害者の医療的ケアや障害福祉サービスの利用した日常生活や支援の様子、地域で生活するための課題、重度障害者の在宅生活や家族等の支援者が抱える課題について共有しました。



## 議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、原則として市民の皆さんに広く公開しており、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

特に本会議は、市民の皆さんが選んだ議員全員によって構成され、皆さんの生活に直結した議案などを審議し、議会の最終的意思を決める会議であり、議員の発言や市長の考え方などを直接見聞きすることができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

本会議の一般席は44席、車いす使用者席の特別席は4席、委員会の一般席は10席で、先着順となります。

※団体での傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

## 議会の動き 令和7年

### 《10月》

- 2日 茨城県ひたちなか市への視察研修
- 7日 大阪府東大阪市議会行政視察来石
- 8日 神奈川県鎌倉市議会行政視察来石  
東京都府中市議会行政視察来石  
石巻颯の会行政視察(～10日)
- 10日 埼玉県富士見市議会行政視察来石  
宮城県大崎市議会行政視察来石
- 14日 保健福祉委員会行政視察(～16日)  
産業建設委員会行政視察(～16日)
- 15日 総務企画委員会行政視察(～17日)  
環境教育委員会行政視察(～17日)
- 21日 議会運営委員会、広報広聴委員会  
東京都渋谷区議会行政視察来石
- 22日 宮崎県日南市議会行政視察来石
- 23日 神奈川県町村議会議長会行政視察来石  
兵庫県姫路市議会行政視察来石
- 28日 広報広聴委員会  
神奈川県横浜市会行政視察来石  
総合防災対策特別委員会
- 29日 埼玉県加須市議会行政視察来石  
神奈川県三浦市議会行政視察来石
- 30日 埼玉県三郷市議会行政視察来石  
東京都福生市議会行政視察来石(～31日)

### 《11月》

- 1日 障害福祉に関する意見交換会
- 4日 ニュー石巻・無党派(阿部正春議員)行政視察(～6日)  
日高見会・無党派(齋藤澄子議員)行政視察(～6日)

- 6日 石巻あかつきの会行政視察
- 11日 公明会行政視察(～14日)  
石巻市民クラブ行政視察(～14日)
- 15日 第33回議場コンサート  
議会報告会
- 18日 福岡県福智町議会行政視察来石
- 22日 無党派(佐藤雄一議員)行政視察
- 28日 議会運営委員会、総務企画委員会  
環境教育委員会、保健福祉委員会  
産業建設委員会、広報広聴委員会

### 《12月》

- 2日 本会議(開会、提案理由説明)  
全員協議会  
地域交通対策特別委員会
- 3日 本会議(条例案、予算案等審議)  
環境教育委員会
- 5日 総務企画委員会、環境教育委員会
- 8日 保健福祉委員会、産業建設委員会
- 9日 議会運営委員会
- 11日 本会議(一般質問)、保健福祉委員会
- 12日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(一般質問)
- 18日 議会運営委員会、  
本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)、全員協議会、議会改革推進会議、広報広聴委員会

# 行ってみっちゃ議会

(Welcome to 議会)

○議場コンサート 13:00~13:30

コンサートには約210人が参加し、「恋の炎サクソフーンカルテット&moreと大野俊三」により、春ジャズ、エブリシング、マツケンサンバⅡ、ディープパープル、セプテンバーの5曲を演奏していただきました。

○議会報告会 13:30~14:40

報告会には37人の参加があり、委員会ごとに4つの会場に分かれ、それぞれの委員会が所管するテーマを基に、貴重なご意見やご要望を伺いました。

皆さまからのご意見などは、今後の議会活動に活用させていただきます。

【議会報告会で出された主な意見、要望】

- ・災害時の情報伝達について
- ・街路灯の設置と防犯について
- ・地域交通について
- ・ごみ問題について
- ・河南町のバイオマスについて
- ・陸上競技場について
- ・補聴器購入費への支援について
- ・がん検診の受診しづらさ改善
- ・診療連携への改善要望について
- ・災害時の避難誘導について
- ・防災マップやチラシなどの配布について
- ・土砂崩れの際の対応について

○議事堂見学会 14:40~15:00

議事堂見学会では議場、委員会室、正副議長室を開放し、多くの方に見学や写真撮影等をいただき、議事堂に親しみを持っていただきました。

〔議会報告会の様子〕



総務企画委員会



環境教育委員会



保健福祉委員会



産業建設委員会

# 常任委員会行政視察レポート

各常任委員会が10月に他市の行政視察を実施してきました。  
報告概要は以下のとおりであり、詳細は二次元コードからご覧ください。

## 総務企画委員会 【実施日】令和7年10月15日～17日

### 〔視察地および視察事項〕

- 三重県桑名市「職員採用における取組について」
- 三重県松阪市「地区防災計画について」



桑名市は、市職員採用において、

名古屋市・三重県庁などの競争自治体へ人材を奪われ、選考を通じた辞退率38%という課題を抱えていた。2024年5月から半年間、採用アドバイザーを登用して選考プロセスを改革し、追加の金銭的コストゼロで選考辞退率を11%まで改善した。

民間企業の人事で活躍していた長岐知弥氏を採用アドバイザーとして、現状分析、課題特定、目標値の設定を行い、解決策、施策を提案し、選考を一方的な評価の機会ではなく、桑名市役所の魅力付けと相互理解の場とした。

採用辞退率を下げるには、スピードが大事であり、最終選考以外は人事課に決定権を移し、応募から内定までの期間を約3カ月から約1カ月まで短縮した。本市において、桑名市の取り組みを取り入れるため、長岐知弥氏においていただき、人事に関する課題解決に力を貸してほしいと感じた。

松阪市は、おおむね小学校区単位に組織している住民自治協議会を基盤に防災に取り組んでいる。地域住民が主体となり、居住地区の特性や想定される災害に合わせて、防災活動の内容や避難方法等に関する地区防災計画を、43地区のうち、11地区

で策定している。

地区防災計画は、過去の大災害や発生確率80%の南海トラフ地震を前提に策定しており、地域の方々が主体となり作成するプロセスを大事にしている。また、市の総合防災訓練に合わせて、住民主体の避難所開設訓練の導入、夜間訓練を実施し、避難所の開設の手順・受入準備を行うことで、市職員が全て整えるのではなく住民の意識を少しずつ変え、住民主体で実施している。

本市では、まだ地区防災計画の作成には至っていない。ずっと住みたい地域づくり支援事業で石巻市内16地区の全地区で設立したこと、計画ルールを自ら決め、形にして共有することで自助・共助の意識高揚コミュニケーションの良好な関係づくりを構築するよう提言したい。



松阪市議会での視察風景

## 環境教育委員会 【実施日】令和7年10月15日～17日

### 〔視察地および視察事項〕

- 岐阜県加須市「市民との協働によるリサイクルの推進について」
- 岐阜県岐阜市「不登校特任校 岐阜市立草潤中学校について」



加須市では「日本一のリサイクルのまち」を目指し、人口10万人以上の都市で11年連続トップクラスのリサイクル率(37・5%)を達成している。有料指定ごみ袋制度の導入、草木類をチップ化する「緑のリサイクル事業」、住民が主体となる「リサイクル推進員」制度、不用品を無料提供する「リサイクルフェア」などに取り組んでいる。

石巻市のごみ分別品目は加須市と大差ないが、リサイクル率が10%というのは低すぎると考えられ、カウント方法の違いによるものと推測される。

本市が今後、市民と協働で3Rを推進していくに当たり、正確な数値を用いて職員と市民のモチベーションを向上させる必要がある。

また、ごみは資源であるという認識を市民一人一人が持ち、分別の目的と利益を理解することが重要であるため、リサイクルやごみ事業などに専門的に対応できる廃棄物専門職員の育成が必要である。

岐阜市立草潤中学校では、生徒が主語となる学校を目指しており、生徒が登校、時間割、担任先生、規則を決定している。  
学校が一人一人の生徒に合わせる

「ありのままの君を受け入れる新たな中学校」が教育理念である。

無気力、無関心など、不登校が近年増加している本市において、学びの多様化学校、草潤中学校は非常に参考にすべき学校と考える。

子どもが多様であるという前提に立ち、そこに対応していこうとする教職員の並々ならぬ情熱と努力、学校システム環境、オンラインフリースペース等、本市でも可能な限り、参考とし、取り入れることを提案する。

人とお金と時間を教育へかけることは、未来への真の意味での投資である。改めて、無限の可能性を秘めている子どもたちのために「誰一人取り残さない」という覚悟と決意が問われている。

ひいては「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち」石巻につながる。



加須市議会での視察風景

## 保健福祉委員会 【実施日】令和7年10月14日～16日

### 【視察地および視察事項】

- 鹿兒島県阿久根市『子育て支援コンシエルジュ事業について』
- 鹿兒島県出水市『出水こけん塾について』



阿久根市は、出産前から小学校入學まで総合的な案内役（コンシエルジュ）として、各家庭に専任の担当保健師を割り当て、出産に関する不安や出産後の子育てに関する相談にワンストップで対応し、顔の見える関係を構築することで、子育てしやすい環境を整備している。

全ての妊産婦および乳幼児家庭を対象に、窓口対応に加え、電話・訪問によるアウトリーチ支援を基本とし、来庁しない家庭にも確実に接触し、主に妊娠期からの相談・情報提供、産後の継続支援、子育て応援BOXの配布、産後ケア応援事業との連携、関連機関との連携といった支援を行っている。

本市においても、支援が届かなかった家庭を生まないために、早期発見・早期把握の機能を体系的に整備し、家庭や地域の変化をいち早く察知して適切な支援につなぐ体制を強化することが求められる。まずは、関係機関間の情報共有の仕組みや家庭の変化を伝えるフローを点検・整備することを提言する。

出水市の出水こけん塾は、筋力アップのために、こぼん体操を行うと同時に、地域の高齢者の方が定期的に集まる通いの場を作ることを目的として誕生した。

こぼん体操は、童謡に合わせた60分弱の体操であり、座ったままできる運動が多く、実践者の体力に合わせ重りで負荷を掛けて行っている。出水市は、5人以上のサークルに對して立ち上げ支援を行っており、初期の運動の支援や自走できるように運営の支援も行っている。また、継続支援として、年に1回体力測定を行い、モチベーションの維持に努めている。

こけん塾での活動を通し、地域で安否確認をするグループができたり、カラオケサークルができたりするなどの事例があり、地域での活動が盛んになっている。

住民の方々にはハードルを低く感じてもらえるような導入が必要であり、そのためにはきめ細やかな立ち上げ支援のための体制作りが必要なのではないかと感じた。



出水市議会での視察風景

## 産業建設委員会 【実施日】令和7年10月14日～16日

### 【視察地および視察事項】

- 青森県青森市『企業立地に係る取組等について』
- 青森県八戸市『産学官金連携の陸上養殖事業について』



青森市では、地理特性や交通面での優位性、また、充実した教育環境や雇用環境を生かし、積極的に誘致活動を進めている。

青森県企業誘致協議会では、近隣市町村や経済団体と広域的な誘致活動を、青森中核工業団地企業立地協議会では、県や県の土地開発公社と共に企業の早期立地を目的に活動を行っている。

さらに、首都圏では市長自らがトップセールスを行う経済交流フェアを開催。誘致のアピールだけでなく、関係者づくり、ネットワークの構築も行っているとのことであった。本市として、さらなる産業の振興と雇用の拡大を図るため、青森市で学んだ協議会の取り組み内容を参考としていく必要がある。今後は、経済団体、大学、金融機関等も交えた連携体制で幅広い協議を行うことにより、地域の人材や資源を生かし、企業誘致を成功させ、地域の活性化につなげていくことを提言する。

八戸市では、漁獲量の減少や長引く不漁を背景に、地元漁業会社の嶋脇漁業株式会社、金融機関、大学と連携し、マツカワガレイの閉鎖循環式陸上養殖事業を行っている。

本事業では、産学官金での連携協定を締結し、それぞれが得意とする

分野で協力しながら事業を進め、陸上養殖のビジネスモデルを構築する。本事業において、蓄積された養殖データやノウハウ、コスト等の状況を共有することにより、陸上養殖事業の横展開を図り、モデル事業として確立することで新たな経済循環を生み出すこととしている。

実際に陸上養殖を展開していくには、コスト面をサポートする体制づくりが必要である。大学や金融機関、企業などの関係機関と連携を密に取りながら、また、国や県とも連携を取りつつ、市全体として本格的な陸上養殖の展開に向けて進めていき、八戸市の事例でもあった陸上養殖の石巻版のビジネスモデル構築へ向け進めていく必要があることを提言する。



八戸市議会での視察風景

# 本会議・常任委員会を動画で配信しています



## 市議会ホームページから 『市議会YouTube配信(ライブ中継・録画映像)』 をぜひご視聴ください

本紙面の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の映像をご覧いただくことができます。

### 次回(令和8年2・3月)定例会議(予定)

	日	月	火	水	木	金	土
2月	8	9	10 13:00 開会 施政方針演説	11 建国記念の日	12	13	14
	15	16	17	18	19	20 10:00 本会議 施政方針質疑	21
	22	23 天皇誕生日	24	25 10:00 本会議 施政方針質疑	26 10:00 本会議 条例案等審議	27 10:00 本会議 当初予算案審議	28
3月	1	2 10:00 本会議 追加議案審議	3 10:00 総務企画	4 10:00 環境教育	5 10:00 保健福祉	6 10:00 産業建設	7
	8	9	10	11 みやぎ鎮魂の日	12 10:00 本会議 一般質問	13 10:00 本会議 一般質問	14
	15	16	17 10:00 本会議 一般質問	18 10:00 本会議 一般質問	19 10:00 本会議 一般質問 追加議案審議 閉会	20 春分の日	21

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。

YouTube 石巻市議会チャンネル



本会議や委員会などの会議録は、市ホームページや図書館、議会図書室でご覧になれます。

会議録の検索・閲覧



■第4回定例会ライブ中継の視聴回数 2,307回 (令和7年12月2日~12月18日)  
■YouTube録画中継の視聴回数 9,326回 (令和7年10月~12月末)



### 編集後記

12月8日に青森県沖から三陸沖を震源とする地震が発生し、津波注意報が出されるなど不安な状況が続きました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。2025年は台風や大雨、火山活動など自然災害が相次ぎ、防災・減災への備えの重要性を改めて実感する一年となりました。

石巻市議会では11月15日に「議会報告会2025 行ってみっちゃ議会」を開催し、議場コンサートや議会報告会、議事堂の公開見学を通じて、開かれた議会の取り組みを進めてきました。

市政には多くの課題がありますが、市民の声を大切に、暮らしに役立つ情報を分かりやすくお届けできるよう、今後も「読んでよかった」と思っていただける議会だよりを目指してまいります。

広報広聴委員会 副委員長 早川 俊弘

DATA 市総人口：130,134人【男：63,244人/女：66,890人/世帯数：62,421世帯(令和7年12月末日現在)】